幼児だより

７　月　号

磯遊び

６月６日（火）は曇り空で少し天候が心配されましたが、４，５歳児で甲子園浜まで親子遠足に出かけました。潮が少しずつ引いていき、すると岩がたくさん見えてきて、岩をよけるとカニやヤドカリがたくさんいて、カモやウミネコなどの鳥も見られました。子どもたちは生き物を見つけるたびに「いたーっ!!」と知らせてくれたり、親子で協力して岩を動かして生き物がいた時はとても嬉しそうでしたね★

待ってました！磯遊びのあとのお弁当＆おやつタイムも楽しい楽しいひと時となりました。お弁当のご用意ありがとうございました。

雨の日のお楽しみ

梅雨の時期はどうしても室内で過ごすことが多くなるのですが、元気いっぱいの子どもたちがしっかり発散でき、とっても盛り上がる遊びの一つです。

梅ジュース

毎年恒例の梅ジュース作り。きれいに洗って、しっかり拭き、芯を取る作業が終わると次は梅に竹串で穴をいくつかあけます。みんな真剣。くじらさんになると慣れた手つきで何個も仕上げていくのはさすがです！

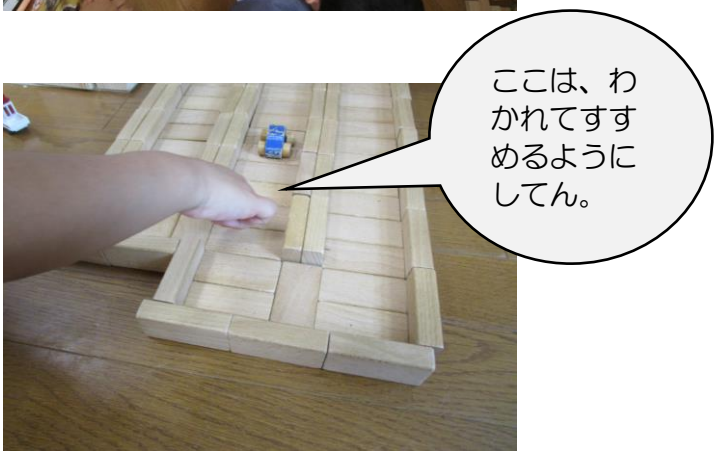
進化している構成あそび

Rくんは、構成あそびがとっても得意！！また、想像力も豊かなので、どんどん遊びが広がっていきます。

屋根がかっこいい！４階建てのおうちだそうです。

楽しそうなことをしているな、と友だちが集まってきます。

家の近くには道路があり、たくさんの車が走っています。



Rくんの構成あそびは、始めからここまでできたわけではありません。始めは、用意されているミニカーを走らせるだけ、積み木を積んでいくだけの遊びでした。しかし、本児と保育士が、「車はどこを走ってる？」「〇〇くんは何が好き？」など、色々な会話をしながら、積み木とミニカーを組み合わせて遊ぶ日々を続けました。すると、今では、自分で街や高速道路を作って、どんどん遊びを広げていくようになりました。大人のちょっとした関わり（ヒント）、彼が好きなものを会話する、こういったアプローチから、どんどん遊び込める子どもに成長していきました。Rくんの街には、ガソリンスタンド、病院、焼き肉キング、消防署、海・・・などが登場します。とっても楽しい街を作ることで、「わ～何作ってんの？」「おもしろそう」「いれて～」と、友だちが集まって一緒に遊び込みます。憧れられた子と、その子に憧れた子、一緒に遊ぶことで会話も生まれ、人間関係を育んでいきます。この繰り返しが、コミュニケーション力に繋がると信じています。得意分野を深め、人間関係を深めていく【あそび】を私たちは大切にしていきます。

アイデアがどんどん♪

楽しそうに、製作コーナーで髪飾りを作っています。年長なので、ハサミものりの使い方もお手のもの(//艸//)
理想に近づけようとどんどんアイデアが沸いてきて、作り上げていきました。

おうかん

リボン

こどもたちの遊びにはアイデアが満載です！「買えばいい。」なんて発想ではなく、「作ればいい。」という発想なのでしょうか、無くても作れば立派な髪飾りの出来上がり✨
憧れはプリンセス？セーラームーン？

紙をジグザグに折ってリボンを作る、紙を王冠のような形に切って型抜きした画用紙を貼る。こういったアイデアは、今までに経験してきたことから生み出されています。更に、”見立てる”という能力が発揮されています。何も経験が無ければ、こんな発想なんて生まれてこないかもしれません。
”前にジグザグに折る経験をしたから、リボンにいけるな”という発想でしょうか。
何かに見立てる能力はアイデアをどんどん生み出していくと思います。みどり野保育園では、乳児クラスの時から、見立て遊びを大事にしてきています。例えば、ままごとコーナーには、実物のような食材は置かず、チェーンリングや花はじき、布で作った丸い物、などを用意して、見立ててままごと遊びをしています。こどもたちは、白い花はじきをお米だと想像して、黄色いチェーンリングをカレールーだと想像して遊んでいます。世間一般に販売されているままごと遊びは、【じゃがいも】【にんじん】にしか見えないものが多いですよね。そうではなくて、想像する力を養えるような玩具を用意して保育をしています。こどもたちの想像する力を引き出せる保育を目指して、日々、私たちも想像しています。

目指せ竹馬名人

４月になって１つ進級して、くじらさんになった子どもたちには**“やってみたい”**という遊びが、たくさんありました。そんな（やってみたい）遊びの中には難しく、苦戦するものもあります、その１つが竹馬です。左右の歩幅が広くなってしまったり、前方に体重をかけるのが怖くて後ろに倒れてしまい、上手く歩けません。それでも諦めずに何度も挑戦し、日々頑張っています。
そんな子どもたちの姿から「やってみたい」「出来るようになりたい」という気持ちが感じられます。
Ｙちゃんはお友だちができるようになると、「竹馬練習しないと！」と言い、出来るようになったお友だちから竹馬に乗るコツを教えてもらいながら練習を始めました。

足の指で棒を挟んで

前に体重、かけるんだよ！

倒れそう！怖い

門のところまで歩けそう！見てみて

Ｙちゃんは練習するうちに補助無しで歩けるようになりました☆
ですが、少し歩けたら満足するのではなく、次の目標を見つけて砂場まで歩きたい、ノアの方舟の門まで歩きたいなど４月から６月、日々練習を積み重ね、ついに門まで歩くことが出来たのです。
たくさんの友だちが出来るようになると「いっせいのーで」の掛け声でスタートし、みんなで門を目指して歩いたり、「竹馬の高さを高くしてみよう」「でも、高いのはまだ怖いかも」「後ろ歩き出来そう」など次の目標を見つけて頑張ろうとしています。
Ｙちゃんは出来ない事をあきらめず挑戦する中で友だちと誘い合って取り組んでいました。今までより一層、仲間意識や絆が生まれているなと感じました。
そして、頑張るくじらさんの姿を見て３・４歳児も竹馬の前段階である、パカポコや天狗下駄などバランス感覚を養う遊びに挑戦しています。刺激し合い、これからも色んな遊びに挑戦していって欲しいです。

竹馬大好きくじらさん